

三重県三重郡朝日町議会

2 住民に開かれた議会

朝日町議会では、平成13年から小学生6年生を対象とした「子ども議会」を開催（現在は人口増加に伴う、児童数の急増により休止中）や平成17年より日曜議会を開催するなど、開かれた議会を目指し早くから取り組みを行なっています。

傍聴者に対しては、審議内容を分かりやすくするため、一般質問の通告書全文の配布を始め、上程議案の内容が分かるよう、簡潔に要約した議案の概要書を作成し配布も行なっています。

「議会だより」については、昭和50年より単独発行を開始してから、現在164号を数え、質問議員自身による要約原稿の提出などにより、議会閉会後の翌月発行を行い、議会の内容をいち早く町民に伝えるよう努めています。

3 地域振興のために特別な取り組みをした議会

東日本大震災において、被災住民から「議員の顔が見えない」「議員は何をしてくれているのか」の声が多く寄せられていることから、朝日町議会では、全議員による防災対策特別委員会を設置し、被災地の現地視察を始め、積極的に県外視察を行ってきました。これらの取り組みを通じて、平成24年9月には、災害時の議会としての意見を一本化することや議員自ら被災状況を把握するため、担当地域を定めるなどを内容とした「朝日町議会災害対策本部設置要綱」を県下町村の中でいち早く制定をしています。さらには、災害発生時（特に地震の際、震度5強以上で参集することを原則とした。）に各議員が行うことを定めた「災害行動マニュアル」も定めるなど、議会としても、災害対策の強化を図っています。